

阿佐東地域における地域公共交通活性化・再生総合事業
(阿佐東地域公共交通懇話会のうち、阿佐海岸鉄道(株)関係分)

事業期間
21～23年度

徳島県南部から高知県東部にわたる阿佐東地域における鉄道・路線バスは、過疎化や少子高齢化により利用者が減少し続け、維持・存続が危ぶまれている。しかし、自らの移動手段を持たない学生や高齢者にとっては、欠かすことのできない交通手段であり、今後においても存続させる必要がある。

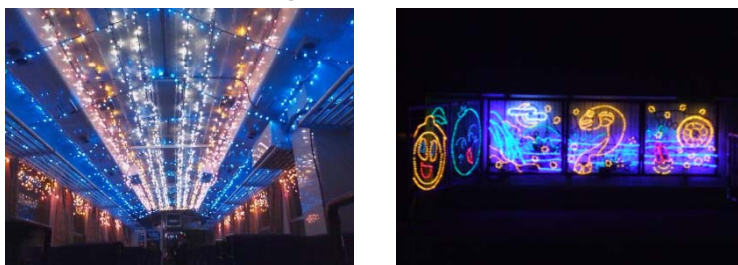
そのためにも、鉄道や路線バスを「マイレール、マイバス」として、地域住民自ら「考え、支え、そして育てる地域公共交通の構築」を進めるとともに、四国遍路や恵まれた地域資源を活かした観光誘客により交流人口の拡大を図るなど、地域住民の参加のもと、関係機関が連携して今後の公共交通機関のあり方を総合的に検討し、阿佐東地域における地域振興に取り組んでいく。

【阿佐東地域公共交通懇話会】

海陽町，東洋町，美波町，牟岐町，各町議会，
徳島県，高知県，阿佐海岸鉄道，JR四国，徳島バス，警察(徳島，高知)，国(徳島支局)，道路管理者，住民代表

事業の概要(22年度)

①LED電飾列車



②風鈴列車



③なごみ列車



④公共交通フォーラム



⑤鉄道利用促進策募集



22年度 導入への プロセス

【利用者増に向けた取り組み】

阿佐東線のさらなるPRを図るため、LED電飾列車を運行するとともに、3駅のホームにLEDイルミネーションを設置。

【マイレールキャンペーン】

マイレール意識を醸成するため、公共交通フォーラムを開催し、ミニSL列車の体験乗車や、駅のホームに設置するLEDイルミネーションのデザイン発表会などを実施。

【新たな利用促進策】

斬新なアイデアによる利用促進策の提案が期待できるとともに、阿佐東線のPRを図るため、利用促進や収入増加に関するアイデアを全国公募。

22年度 事業の 効果

列車演出による利用促進

幻想的な光の世界に引き込むLED電飾列車の運行や駅ホームへのLEDイルミネーションの設置、夏の涼を演出する風鈴列車を運行し、鉄道利用の拡大を図った。

車窓風景による利用促進

ゆっくり走る列車内でコーヒーやお茶などを提供し、室戸阿南海岸国定公園の景色を楽しみながら、列車内で「なごみ」を体感できる臨時列車を運行し、鉄道利用の拡大を図った。

全国公募による利用促進

鉄道の利用促進や収入増加に関する提案を全国公募することにより、阿佐東線のPR効果が図れるとともに、斬新なアイデアによる利用促進が見込まれる。

マイレール意識の醸成

鉄道関係の有識者を招へいして、地域の公共交通について考える「公共交通フォーラム」を開催し、公共交通のあり方や活性化に向けた取り組みの講演や、鉄道に慣れ親しんでもらうことを目的にミニSL列車の体験乗車、駅のホームに設置するLEDイルミネーションのデザイン発表会を行うなど、地域住民の鉄道への意識・理解を深めた。

次年度 以降

- ・新たな車両(DMV)の導入に向けた実証実験開始
- ・様々な利用促進策を継続実施

DMV(デュアル・モード・ビークル)は鉄道も道路も走行可能な車両であり、利便性向上による鉄道利用の促進や地域の活性化等が期待できることから、将来の導入に向けての実証実験を行う。



様々な利用促進策を継続して実施することにより、鉄道利用者の増加に努めるとともに、地域が鉄道を支えるという意識を醸成する。

- ◆LED電飾列車、風鈴列車、なごみ列車の運行
- ◆公共交通フォーラムの開催
- ◆新たな利用促進策の展開